

0. 策定者

熊本市（軌道整備事業者）
（仮称）熊本市公共交通公社（軌道運送事業者）

1. 軌道運送高度化事業を実施する区域

(1) 軌道施設の整備等の予定区域

- ① 新規
（仮称）東町線（起点 熊本市東区健軍 3 丁目 ～ 終点 熊本市東区東町 4 丁目）
- ② 既設線
幹線（起点 熊本市西区春日 3 丁目 ～ 終点 熊本市中央区水道町）
水前寺線（起点 熊本市中央区水道町 ～ 終点 熊本市中央区国府 1 丁目）
健軍線（起点 熊本市中央区国府 1 丁目 ～ 終点 熊本市東区健軍 3 丁目）
田崎線（起点 熊本市西区春日 3 丁目 ～ 終点 熊本市西区春日 2 丁目）
上熊本線（起点 熊本市中央区辛島町 ～ 終点 熊本市西区上熊本 2 丁目）

(2) 車両の導入予定区域

- ① 新規
（仮称）東町線（起点 熊本市東区健軍 3 丁目 ～ 終点 熊本市東区東町 4 丁目）
- ② 既設線
幹線（起点 熊本市西区春日 3 丁目 ～ 終点 熊本市中央区水道町）
水前寺線（起点 熊本市中央区水道町 ～ 終点 熊本市中央区国府 1 丁目）
健軍線（起点 熊本市中央区国府 1 丁目 ～ 終点 熊本市東区健軍 3 丁目）
田崎線（起点 熊本市西区春日 3 丁目 ～ 終点 熊本市西区春日 2 丁目）
上熊本線（起点 熊本市中央区辛島町 ～ 終点 熊本市西区上熊本 2 丁目）

2. 軌道運送高度化事業の内容

(1) 導入する車両の数及び構造

車両数 12 編成

構造 乗降口の段差を解消するなど利用者に配慮したバリアフリー対応の超低床車両で、加減速性能に優れ、かつ、運転席の視認性の良い車体形状や走行安全性にも配慮した車両。

■車両のイメージ



(2) 軌道施設の整備

① 路面電車の整備及び軌道施設の整備（新線）

基本的に既存の道路空間の中央に敷設し整備する。また、快適で低騒音、低振動の走行ができる制振軌道構造とし、バリアフリー対応の停留場を新たに整備するとともに、接続する停留場の改修を行う。

また、デジタルサイネージを一部停留場に設置し、利用者への情報発信を強化するとともに、運行情報等の必要な情報をリアルタイムで提供する環境を整える。

整備延長	1.57 km
新設停留場数	4 か所（バリアフリー対応）
改修停留場	1 か所（バリアフリー対応） ・健軍町停留場

② 路面電車の整備及び軌道施設の整備（既設線）

利用者の快適性の向上を図るため、既設停留場のバリアフリー化、軌道の高度化を実施する。

改修停留場数 18 か所（36 面）※令和 5 年度末時点。健軍町電停除く。

- ・令和 5 年度末時点で 16 か所の停留場をバリアフリー化済。
- ・熊本市バリアフリーマスタープランに規定する優先順位に沿って、毎年 1 停留場ずつ改良を進めることとしているが、優先順位が劣後する停留場については、屋根の敷設等の改良を行い、快適性向上に努める。

軌道の高度化 L = 8,540m（PCマクラギ 7,920m 樹脂固定 620m）

- ・老朽化区間から、PCマクラギを用いたたわみ軌道に改良を行うほか、通行量の多い交差点区間については、樹脂固定を進め軌道の安全性・安定性の向上を図る。

3. 軌道運送高度化事業の実施予定期間

① 新線整備	事業開始予定年月	令和 6 年 1 2 月
	事業終了予定年月	令和 1 3 年 3 月
	運輸開始予定年月	令和 1 3 年 4 月
② 既設線 （上下分離）	事業開始予定年月	令和 7 年 4 月
	事業終了予定年月	未定
	運輸開始予定年月	令和 7 年 4 月

軌道運送高度化実施計画

4. 軌道運送高度化事業の実施に必要な資金の額及びその調達方法

- ① 新規
概算工事費 約13,500百万円
調達主体 熊本市
調達方法 適用助成制度 社会資本整備総合交付金
起債の種類及び充当率 公共事業等債 90%
- ② 既存線
概算工事費 約22,200百万円（令和7年度より30年間）
調達主体 熊本市
調達方法 適用助成制度 社会資本整備総合交付金
観光振興事業費補助金
起債の種類及び充当率 公営企業債 100%

※現時点での想定

5. 軌道運送高度化事業の効果

- (1)公共交通利用者の増加（新線整備）
・利用者数の増加：2,290人/日
- (2)新線整備による費用便益比 1.3
- (3)輸送力の向上による乗り残しの解消（多両編成車両導入）
- (4)多様な属性の利用者の移動の円滑化（超低床車両導入、停留場のバリアフリー化）
- (5)低騒音・低振動化による利用者及び沿線住民の快適性向上（制振軌道化）
- (6)軌道の安定性・安全性の向上。保守費用の軽減（PCマクラギ化）
- (7)エリア特性に応じた多様な情報配信による利便性向上（デジタルサイネージ設置）
- (8)供給者便益（当該事業者の広告収益）の向上（新線整備、デジタルサイネージ設置）

6. 地域公共交通計画に定められた軌道運送高度化事業に関連して実施される事業に関する事項

(1) 地域の特性や実情に応じた新たなコミュニティ交通の導入

基幹公共交通軸や地域拠点等に接続する、A I、I C T等の新技術を活用した新たなコミュニティ交通を導入し、地域の特性や実情に応じたきめ細かな移動ニーズに対応していく。

東部方面での渋滞緩和等、延伸効果の最大化を図るため、新設電停・健康町電停と周辺地域を結ぶコミュニティ交通導入など、健康地区活性化を図る。



▲ A I オンデマンド交通（国交省 HP より）

(2) 位置情報システム（GPS）を活用した市電ロケーションシステムやスマート電停の拡充

現在、10電停に設置しているデジタルサイネージを拡充し、市民や来訪者に対し、運行時刻表、市電ナビ、遅延・運休情報、災害情報などをリアルタイムに表示し情報発信することで市電の利用促進を図るとともに、広報物をデジタル表示とすることで景観にも配慮する。



◀ デジタルサイネージ

(3) パークアンドライド（P&R）、サイクルアンドライド（C&R）等の整備

延伸部沿線をはじめ、乗換拠点や交通拠点において需要や特性に応じてパークアンドライドやサイクルアンドライドの整備を行い、利用者の利便性の向上のほか、公共交通への利用転換や自家用車流入抑制によるバス路線等の定時性・速達性の向上を図る。



P & R、C & R等の促進 ▶

軌道運送高度化実施計画

(4) ICT等の推進

MaaS等の新たなモビリティサービスの展開を見据えて、AIやICT等の新技術を積極的に活用し、経路検索・予約・決済等の一元化や各種サービスの情報提供などの導入検討に取り組む。

また、利便性向上に向け、令和5年度に実証実験を行った「顔認証」決済について、その効果を検証し、本格導入を検討する。

MaaSの推進▶



7. 軌道施設の使用料の額

施設使用料は、熊本市が施設・車両の日常的な修繕等に要する費用（維持管理費）、施設・車両の使用に伴う資産の減価額（減価償却費）等及び軌道運送事業者に派遣する人件費相当額（派遣人件費）を加えた額から、当該費用に充当される一般会計補助金等（長期前受金収益化額）を控除した額とする。

※金額は精査中

【算入する項目】

項目	内容
維持管理費	施設・車両を維持していくために要する費用
減価償却費等	施設・車施設・車両の使用に伴う資産の減価額
派遣人件費	下物から上物へ派遣する職員の人件費

【控除する金額】

項目	内容
長期前受金収益化額	軌道修繕費負担金、市電機能強化補助の収益化額

8. 軌道施設の使用料の収受方法

（一財）熊本市公共交通公社が熊本市に対し、年間使用料の6分の1に相当する額を2か月ごとにそれぞれ支払う。

9. 軌道施設の使用開始予定日及びその期間

使用開始予定時期 令和7年（2025年）4月
使用終了予定時期 未定

10. 軌道施設の管理の方法

軌道施設は熊本市が所有し、維持管理の責任を持つ。その維持管理業務は熊本市が（一財）熊本市公共交通公社に委託し、（一財）熊本市市公共交通公社が実務を担う。通常発生する維持管理及び修繕工事等（以下「維持管理等」という。）については、（一財）熊本市公共交通公社が、その他の事由による維持管理等及び災害復旧工事について双方が協議して行う。

■「軌道施設の管理の方法」の内訳

施設	軌道施設及び車両の責任の所在 （責任を負うものに○）※		備考 （責任に関わる事項で左の分担と異なる事象について記載）
	軌道整備事業者 （熊本市）	軌道運送事業者 （（一財）熊本市公共交通公社）	
軌道	○		軌道運送事業者による日常的な維持管理を委託
停留場	○		同上
車庫及び車両検査 修繕施設	○		同上
踏切道の保安設備	○		同上
車両	○		同上
保安通信設備	○		同上
変電所	○		同上
き電線路	○		同上
電車線路	○		同上

※責任を負うものとは、軌道法に基づく許可申請等の手続き、施設の整備、維持管理を行うもの

11. その他軌道運送高度化事業の運営に重大な関係を有する事項

- 半導体世界最大手TSMCの本県への工場進出（2024年末までに稼働開始予定）に伴い、JR豊肥本線利用者の増大が見込まれるが、豊肥本線と中心市街地を結ぶJR新水前寺駅とは、新水前寺駅前停留場で直結しているため、利用者の増加が見込まれる。
- 延伸に伴い新たな運転士の雇用が必要となるため、運行体制の上下分離による会計年度職員の正職員化など乗務員の処遇改善に取り組むとともに、求人サイトや新卒者を対象とした新規の採用活動など、様々な手法を活用し積極的な人材確保に取り組む。